

## 結 果 の 要 約

1 大阪府の15歳以上人口7,547,776人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は4,326,711人で、前回調査の平成12年に比べ118,727人、2.7%減少している。男女別にみると、男性は2,568,279人、女性は1,758,432人で、平成12年に比べ男性は5.2%減少、女性は1.2%増加している。

労働力率( )は59.7%で、平成12年に比べ0.8ポイント低下している。また、男性の労働力率は74.9%、女性の労働力率は46.1%で、平成12年に比べ男性は1.9ポイント低下、女性は0.6ポイント上昇している。

( )15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は3,954,211人で、平成12年に比べ179,970人、4.4%減少している。男女別にみると、男性は2,321,840人、女性は1,632,371人で、平成12年に比べ男性は7.3%減少、女性は0.1%増加している。また、65歳以上の就業者数は289,723人(就業者数の7.3%)で、平成12年に比べ18.9%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は3,381,083人(就業者数の85.5%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は425,569人(同10.8%)、家族従業者は146,829人(同3.7%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は1.0ポイント上昇、自営業主は0.5ポイント低下、家族従業者は0.5ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「卸売・小売業」が793,808人(就業者数の20.1%)と最も多く、次いで「製造業」が708,276人(同17.9%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が580,290人(同14.7%)、「医療、福祉」が357,436人(同9.0%)、「建設業」が326,121人(同8.2%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は41.2時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ43.4時間、27.5時間、役員は44.3時間、雇人のある業主は48.7時間、雇人のない業主は41.4時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は736,709世帯(夫婦のいる一般世帯2,018,585世帯の36.5%)で、平成12年に比べ250世帯、0.0%減少している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は516,107世帯(同25.6%)で、平成12年に比べ6,437世帯、1.2%減少している。

7 府内に在住する外国人就業者数は73,688人で、平成12年に比べ6,438人、8.0%減少している。

図1 大阪府の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

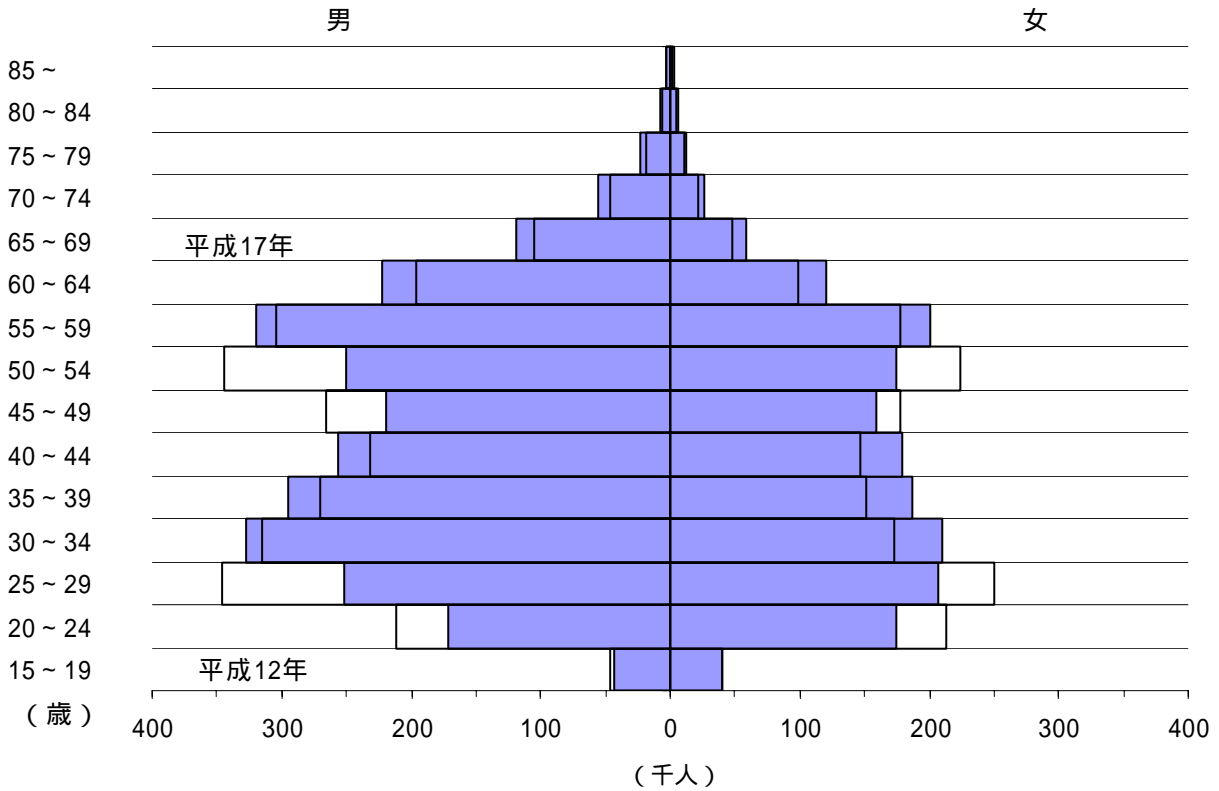
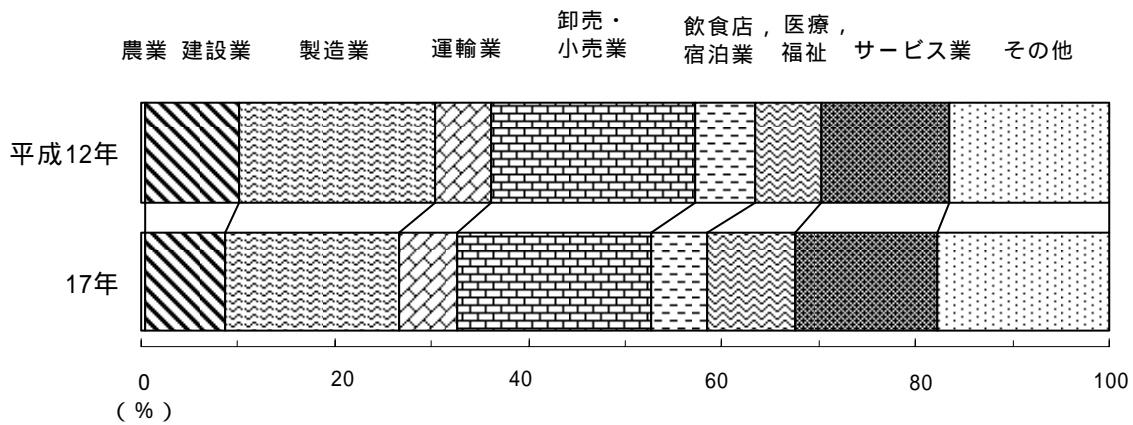


図2 大阪府の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



(注1) 「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育, 学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務 (他に分類されないもの)」及び「分類不能の産業」である。

(注2) 平成12年は, 日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。